

活動レポート

防災委員会

平成 21 年度総会開催報告

1. はじめに

2009年(平成21年)5月27日、平成21年度防災委員会総会を独立行政法人土木研究所寒地土木研究所講堂にて、開催しました。

本稿では、総会の概要、平成21年度事業計画及び第Ⅶ期委員会活動について、その概要を報告します。

2. 平成 21 年度総会の概要

平成21年度総会及び基調講演は下表のとおり開催し、参加者数は総会35名、情報交換会25名でした。

開会

挨拶 委員長 高宮 則夫

総会議事

(1) 平成20年度事業内容及び決算報告

副委員長 城戸 寛

(2) 平成21年度事業計画及び予算

幹事 林 宏親

第Ⅶ期部会活動報告

(1) 情報部会 部会幹事 森 隆広

(2) 地盤部会 部会幹事 河村 巧

(3) 交通部会 部会長 木村 和之

(4) 都市部会 部会幹事 伊藤 仁

(5) 水工部会 部会幹事 福間 博史

講演(防災支援委員会活動報告)

「中国・四川大地震から1年が過ぎて

— 地震復興と技術協力 —」

副委員長 松井 義孝

閉会

情報交換会

3. 平成 21 年度事業計画

総会議事では、平成20年度活動に関する総括及び決算報告に引き続き、平成21年度事業計画及び予算について説明し、会場出席者の承認が得られました。

2009(平成21)年度の活動内容としては、委員で構成される事務局及び、地盤、交通、都市、水工の4研究部会体制により、2001(平成13)年度から取り組んでいる「都市型災害に備えた防災・減災対策」に関する調査研究を進めます。なお、情報部会については当面活動を休止する予定です。

継続している防災セミナーについては、今年度も2回の開催を予定しており、本部支部との連携も図りたいと考えています。また、ホームページを情報発信ツールとしてあらためて活用すべく、滞っておりました更新を進めます。

更に、今年度からの新たな取組みとして、研究部会とは別に、特定のテーマに関するワーキンググループを設置することにしました。技術士の社会貢献の観点から、現在、「防災教育」をテーマに市民向け防災セミナーの開催準備を進めています。



写真-1 総会会場

4. 第Ⅶ期委員会活動を振り返る

2007（平成19）年度からの第Ⅶ期は、(社)日本技術士会北海道支部「防災委員会」としての新たなスタートとなり、あらためて全国各支部との連携強化を進めるとともに、公開セミナーの継続開催や「防災・減災カード（地震サバイバル編）」を企画、発行する等、広く市民への情報発信や防災教育等の技術士による社会貢献に向けた取り組みにも着手しました。

第Ⅶ期（2007（平成19）年4月～2009（平成21）年3月）の活動テーマ及び研究課題は下記のとおりで、防災セミナーなどの開催とともに、各部会における調査研究を継続し、その成果を「技術士からの27の提言」のフォローアップに繋げることができました。

活動テーマ「都市型災害に備えた防災・減災対策」

- ①札幌大地震に備えた防災・減災対策の調査研究
- ②地震・風水害等の複合型災害対策の調査研究
- ③防災・減災文化に関する調査研究

第Ⅶ期の防災セミナー等（表-1のとおり）にご登壇いただいた11名の講師の皆様、あらためて御礼申し上げます。また、聴講者総数は延べ464名、情報交換会の出席者数も延べ107名でした。開催日時がすべて平日の午後という設定にもかかわらず、貴重な時間を割いて参加いただいた会員各位に対しましても、敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

5. おわりに

今期の直前、2007（平成19）年3月25日に起きた能登沖地震は震度6強、同年4月15日の三重地震は震度5強、同年7月16日の新潟県中越沖地震は震度6強で、それぞれ多くの死者、負傷者がありました。2008（平成20）年に入ってから、6月14日の岩手・宮城内陸地震、7月24日の岩手地震が連続して東北地方で発生し、ともに震度6強で甚大な被害が発生しています。

やはり、忘れた頃ではなく、災害はいずれ必ずやって来ると肝に銘じ、備えることが求められます。

2008（平成20）年の夏、ゲリラ的な集中豪雨により川遊びをしていた子どもたちや下水道の増水により工事作業員が逃げ遅れ犠牲になっています。

いずれも防災減災に関する情報や知識、危機管理意識が不足していたと言わざるを得ません。

平時における情報発信、災害時の情報伝達に関して、受け手と送り手間のコミュニケーションの方法や防災教育のあり方が問われており、行政をはじめとする関係機関はもとより、私たち専門家がこれまで以上に広く社会に対して情報発信を進める責任、必要性を再認識すべきだと思います。

防災委員会では、今後も技術士の社会貢献の観点から、引き続き「防災から減災へ」に向けた調査研究や取り組みを進めていく所存です。

（文責：防災委員会副委員長 城戸 寛）

表-1 第Ⅶ期防災セミナー等講演会開催一覧表

開催日	テ ー マ	講 演 者	備 考
1 2007年5月23日	阪神・淡路大震災が教えたもの一本当の教訓は何だったのかー	北海道大学科学技術コミュニケーター養成ユニット 特任教授 隈本 邦彦 氏	2007(H19)年度総会
2 2007年7月27日	地震研究から予報の実用化へー前兆現象としてのVHF電波伝搬異常ー	北海道大学理学院付属地震火山研究観測センター 研究員 森谷 武男 氏	第13回防災セミナー
3 2007年11月5日	[基調講演] 被害軽減に向けた災害情報のあり方について	群馬大学大学院工学研究科 教授 片田 敏孝 氏	第14回防災セミナー
	[パネルディスカッション] 今後の災害情報と防災教育のあり方を考える	北海道大学科学技術コミュニケーター養成ユニット 特任教授 隈本 邦彦 氏	
		北海道教育大学教育学部札幌校 准教授 佐々木 貴子 氏	
4 2008年2月14日	神戸市復興状況視察報告	飛鳥建設株式会社札幌支店土木営業部 担当部長 柴田 登 氏	第15回防災セミナー
	札幌市の防災計画について	札幌市危機管理室危機管理対策課 調整担当係長 堀 義文 氏	
5 2008年6月24日	北海道における主な防災対策の取り組み	北海道総務部危機対策局防災消防課防災グループ 主幹 石山 敏行 氏	2008(H20)年度総会
6 2008年7月17日	阪神・淡路大震災から学ぶこと	神戸防災技術者の会 (K-TEC) 片瀬 範雄 氏、栗田 聡也 氏	第16回防災セミナー
7 2008年11月11日	2008年冬期に北海道で発生した吹雪災害の状況と課題について	寒地土木研究所寒地道路研究グループ 主任研究員 伊東 靖彦 氏	第17回防災セミナー
	近年の爆弾低気圧の傾向についてー爆弾低気圧の特徴と気象災害ー	財団法人日本気象協会北海道支部防災対策室長 松岡 直基 氏	